

平成 23(2011)年 12 月 1 日(木)発行：年末年始(19)号

あ じ ふ る さ と 阿 字 の 故 郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院情報誌

編集者：川上 修 註



●平成23年下半期の行事報告

本堂落慶と盂蘭盆会と震災供養祈願

8月10日(水)午前11時より開催の、毎年恒例盂蘭盆会に際し、本年は、本堂落慶と東日本大震災精霊供養と被災地復興祈願を併せての記念行事と成りました。

その法会の中で読み上げました、お祝いの文章をそのまま掲載致します。

『本堂落慶 入佛開眼 慶讃之文』

謹み敬つて真言教主大日如来両部界会諸尊聖衆、殊に別ては本尊聖者千手観世音菩薩並びに地藏菩薩、不動明王、閻魔十王、高祖弘法大師、総じては盡空法界一切三宝の境界に白して言さく。

夫れ塔堂は、仏心莊嚴の顕れ、伽藍は菩提涅槃の方便なり、本尊これによってその威光を倍增し、衆生これを仰いで信心を確信す。故に高祖弘法大師は、觀法を修するを以て仏道修行の旨となし、仏塔を建て仏像を造るを以て護持信仰の要となすと。全ての理はこの如くなりて他は無し、更に三世に亘り十方に広がる曼荼羅の相はこの福智を営んで圓滿なり。

本日ここに本堂落慶を迎える当山は、慶長年間の頃より、小和田村熊野神社参道正面に位置し、興廢と無住の時期を乗り越え、護寺会檀信徒の支え有つて伽藍安穩するも、関東大震災により塔堂伽藍は倒壊し、國の盛衰を他所に質素儉約を元とし、本堂再建の機運とはただただ遊

離するばかりなりと。

然るに平成十四年現住職晋山に到り、護寺会世話人一同の切望により、遂に本堂建設の志を新たにし、先ずは弘法大師尊像修復より発願、次いで伊藤平左門建築事務所十三第当主とのご縁により、基本設計から管理までを委託す。

更には木工芸師、桜井洋師により本尊千手観世音菩薩像修復と、漆工芸師、辻賢三師により閻魔十王像の修復へと前進するなり。

いよいよ期の熟する中、宮大工、井上俊仁棟梁と出会い、宿縁により誓願の満を觀じ、ますます如意圓滿し数多の匠を結集し、高野山御影堂を手本とし、奥の院ご靈木ご拝領の榮に浴し、湘南の地に中世の様式美を再現するに到るなり。

これによって本堂建設委員会役員一同の永年の苦勞は報われ、護寺会檀信徒の心は晴れ渡り、実修者各位の求道の念はますます清廉なりと。

本日ここに吉辰の卜して本堂の落慶入佛開眼法会に際し、ご参集の諸大徳、特には相模一二組施餓鬼門中のご住職様方により、明音は響き渡り法味は蔓延す、

誠に善哉善哉、感涙の衆生、有り難きは出会い、得がたきは和を以て集まりし良きところなり。

仰ぎ請い願わくば本尊聖者千手観世音菩薩、衆生が丹誠を哀愍納受せられ、この置き所を開示し、我らが正道を歩まんが為の加持力を授け給え。

乃至法界平等利益……以上



尚、本堂建設に至るまでの記録映像を、(平成15年から平成23年10月までの8年間を70分の動画と写真で構成)DVDに納め、護寺会員と寄進者各位にお配り致します

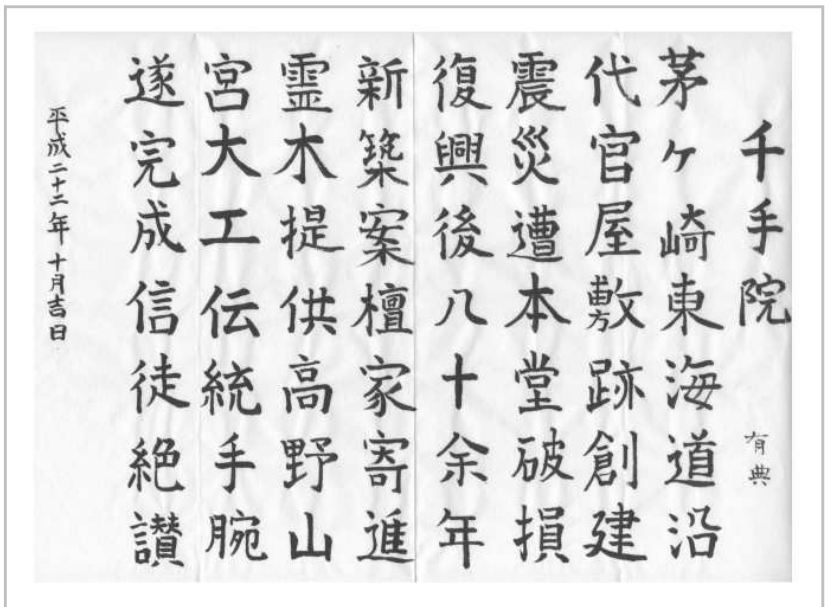
高野山ご靈木拝領御礼と義捐金奉納

10月3日(月)～5日(水)二泊三日で和歌山県高野山総本山金剛峯寺へ団体参拜。建築業者を代表し、根岸広人建築士が同行。建設委員会を代表し、白井好之会長、原田季昭副会長、白井精治副会長、楠本実委員、原田吉一委員、小池忠委員、鈴木奈々子委員、その他水嶋利子様他(総勢26名)の方々にご参加頂きました。

二日目の午前中に、奥の院ご靈木のご拝領御礼として、苗木800本分の資金奉納と、東日本大震災の被災地復興義捐金の奉納を金剛峯寺の広間で行いました。

午後からは、本山正面ご靈木の家近くに苗木を植える植樹祭に参加し、苗木の中から花の咲く三本(ナツツバキ・ヤマボウシ・ヒメシヤラ)を手植え致しました。

その他の苗木は、奥の院の森林へ随時所を選びながら植樹されます。感謝



※本堂落慶を祝し、護寺会員の坂本有典様から直筆の漢詩を『ご奉納頂きました。』

特別伝道大会で官長猥下よりの御親教

11月21日（月）正午開場で、相模原グリーンホール相模大野を会場として、特別伝道相模大会が開催されました。

高野山金剛峯寺の松長有慶管長猥下を御

導師にお迎えし、相模宗務支所で新調した弘法大師さまの御影をお祀りしての、御詠歌・宗教舞踊・声明・官長猥下のお言葉と式典に際しての御法楽を拝聴しました。

また、各地で好評を博している、仏像ガールの講演も行われ、千手院からは、白井好之会長を始め、白井精治副会長、石橋久照様、楠本実様、原田吉一様、齋藤功様、鈴木奈々子様、御詠歌講員8名他総勢33名が参加しています。大会全体での参加者は1000名を超えていたそうです。

そのた、お写経や義捐金の奉納、更には、会場の地元、伊勢原市へ義捐金のご寄付も行われました。有り難うございました。

●平成23年師走の行事予定

年越しの祈願法会（ご守護札ご祈願）

大晦日午後11時30分より元旦午前0時30分まで、新年のお守り札をご祈願する読経会と茶話会を開催いたします。

新しい本堂の吊り燈籠を灯し、精進のおせち料理を頂きながら、新年の抱負を語り

合えればと思つて居ります。

●平成23年上半年期の行事予定

初詣受付

元旦より3日、正月の三箇日は、初詣の方々をお接待しております。年頭に御本尊様やご先祖様にご挨拶をいたしましょう。

新年答礼

1月4日の終日、住職が近隣の護寺会員宅にお守り札を持って伺います。天候や仏事の都合で伺えない場合も有りますので、その際はご了承下さいませ。

春季彼岸会 閻魔十王祭

3月20日（火）午前11時より本堂内の閻魔壇前にて、御詠歌・読経・法話・茶話会を開催致します。終日写佛と写経も浄書頂けるようにご用意致して居りますので、どうぞお出かけ下さい。

平成24（2012）年の回忌一覧表

1	周忌	平成	23	(2011)	年
3	回忌	平成	22	(2010)	年
7	回忌	平成	18	(2006)	年
13	回忌	平成	12	(2000)	年
17	回忌	平成	8	(1996)	年
23	回忌	平成	2	(1990)	年
25	回忌	昭和	63	(1988)	年
27	回忌	昭和	61	(1986)	年
33	回忌	昭和	55	(1980)	年
37	回忌	昭和	51	(1976)	年
50	回忌	昭和	38	(1963)	年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時の確認をしてお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合がありますので、先着順とさせていただきます。

- ◎ 必要事項は左記の内容です。
- ① 日時と場所の確認を一番にします。
- ② 卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。
- ③ 参加者の人数を前日までに確認。
- ④ 食事の有無と場所を確保します。
- ⑤ 生花と供物の注文を頼むか持参か。
- ⑥ 位牌と遺影は機にに応じて考えましょう。

お墓の環境を守るためのルールです

- ① お墓の永代使用権は、護寺会員が管理権限者任職の指示に従っている限り永代に使用できる権利の事をいいます。お墓には、所有権がありません、個人の自由で譲渡は出来ません。必ず祠祭の継承者を任職にお知らせください。
- ② 既存の墓石改修は、必ず任職の許可を得てから行ってください。施主と石材店は必ずそろって任職との面談で施行を進めることが義務となります。
- ③ 墓所での読経は、墓石を外す前と完成時の二回行います。今まで失念していた方はお申し出ください。現在の墓所管理は湘南メモリアルネット（沼上氏）に委託しています。
- ④ 境内墓所と飛地墓所は、個々の権利の主張より全体の融和を第一に考えております。任職の権限を軽視した行動は、墓所の環境を守ることが困難に成りかねません。必ず任職に報告の上末永く良い環境を守っていきましょう。

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

せん じゅ いん
千 手 院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム 検索「千手院の寺報」記入

メール senjuin@shusen.com